

「笑顔・自信・絆」のある学校

校訓 自主・心・健康

生徒数

1年生 104名

2年生 103名

3年生 102名

計 309名



瑞穂中だより 「5月号」 令和6年5月1日発行

花いっぱい 挨拶いっぱい 瑞穂中！

校長 内山 留美子

本校の昇降口前のパンジーやビオラの花々も満開を迎え、心を和ませてくれています。特に朝の登校時では、環境委員の皆さんと花々の手入れをしていると・・・、「おはようございます」と、とても元気のいい爽やかな挨拶を、通りかかる生徒の皆さんがしてくれます。中には気づかずに通り過ぎたあと、わざわざ戻ってきて「おはようございます」ということも…。皆さんの挨拶から、「よし、今日もがんばるぞ！」と、毎日元気をもらっています。



さて、11日には早速生徒会主催の新入生歓迎会(部活動紹介)が行われ、16日からは部活動見学や体験入部が始まりました。新入生の皆さんのこの1ヵ月の生活の様子を見ると、だいぶ学校生活に慣れてきたように思います。昼休みに元気に遊ぶ姿や体験入部に積極的に参加する姿がいきいきとしていて、毎日の生活を楽しんでいる様子が見えがえます。

一方、上級生となった2年生・3年生の皆さんも、新入生が入学してきたこと、そして体験入部が始まったことで、上級生としての自覚がグッと高まってきたように思います。特に新入生歓迎会では、生徒会長の高田 千央さんを中心として上級生としてのあるべき姿を後輩に示すことができていました。とても頼もしかったです！

『生命は (いのちは)』 吉野弘

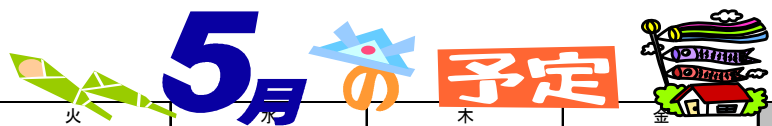
生命は自分だけでは完結できないように
つくられているらしい
花も めしべとおしべが
揃っているだけでは不十分で
虫や風が訪れて
めしべとおしべを仲立ちする

生命はすべて その中に欠如を抱き
それを他者から満たしてもらうのだ

私は今日 どこかの花のための
蛇だったかもしれない
そして明日は誰かが私という花のための
蛇であるかもしれない

また全校集会では、私からは吉野 弘さんの『生命は(いのちは)』という詩を用いて、「各学年ともに仲間づくりや学級づくりを意識して生活して欲しい」と話をしました。積極的な挨拶を通して、一人一人が安心して生活できる日常の土台(=居心地のよい居場所)を築いて欲しいと思っています。

ぜひ、これから始まる運動会の練習を絶好の機会と捉えて、仲間との信頼関係を深めていって欲しいと思います。特に3年生は、中学校最後の宿泊行事である修学旅行を控えています。新たな仲間の良さを見つけ、絆を深めていって欲しいと思っています。



月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		3年県学調	聴力検査①3年②1年	憲法記念日	みどりの日	こどもの日
		本入部②	前期認証式 本入部③			
6 休日	7 4時間授業	8 開校記念日	9 2年県学調	10 1年県学調	11 市P連新旧 理事会	12
	部活動なし					
13	14 尿検査一次	15	16	17	18	19
	専門委員会	⑤⑥3年修学旅行事前集会	通信陸上	①3年荷物搬入②3年 通信陸上予備日	3年修学旅行	3年修学旅行
20 3年修学旅行 教育実習開始	21 3年振替休日	22 3年振替休日	23 尿検査二次	24	25 英検一次	26
			放:運動会係別会議			
27 ⑨2年歯科健診	28 ⑨3年歯科健診	29 運動会予行	30	31 ⑤⑥運動会準備	6月1日(土) 運動会 (雨天時月曜日課)	



新年度の様子をお届け！



入学式・始業式から1ヵ月、緊張感がほどけ笑顔が増えてきました。

1年生は、入学式こそ緊張して、とにかく静かでしたが、3日も経つと「おはようございます!」「こんにちわ!」と、元気な声と笑顔で挨拶して、学校全体を明るく爽やかにしてくれています。

2年生は、“自律”を1年間の目標にしたことで、「当たり前前はことは自分たちで取り組む」姿が授業でみられ、目標を意識して生活するスタートを切れていました。

3年生は、17・18日に全国学力・学習状況調査が実施され、受験生であることを実感していました。また、集会では全校生徒の手本として、最上級生として、凛々しい瑞穂中生の姿を態度で表していました。



わたしの
おススメ
1冊

今月の紹介者 << 作山 裕哉 先生(社会科) >>
『あきらめないこと、それが冒険だ』 野口 健 著

この本は、登山家の野口健さんの本です。世界各国の山を登頂している野口さんですが、様々な課題に直面しています。そんな中でも、目標に向かってあきらめず、努力を続ける野口さんの姿を、みなさんにも知っていただきたいです。ぜひ読んでみて下さい!!

日本一の読書のまち 三郷

